

刊夕日七十月五

常磐毎日新聞

定価 一部全紙一円 五拾銭 郵税五拾銭
 廣告料 五拾二文字 行金五拾銭
 日曜祭日の翌日休刊
 発行所 常磐毎日新聞社
 印刷所 常磐毎日新聞社

乳幼児の

口腔衛生に就て

齒科醫原 精一

【四】 斯様にして齲齒の發生を豫防すると同時に一方又、時々幼児の齒牙の検査を受けさせて、若し齲齒を發見したならば、早速適當な處置を乞ふべきであります。痛まない早期に受ける手當は簡單で時間的にも經濟的にも得策ですが、痛むとか、腫れるとかする末期になつては手當に長時間を要する爲度々通院せねばならぬ上多額の料金を要し非常に不經濟となります。

世間には往々にして乳齒は一時的のもの故構はないでもよからうなどと思つて其齲齒を放置して顧みない方が大分ある様ですが之は大なる誤解でありまして、育兒上誠に遺憾に堪えぬ所であります。成る程乳齒はやがて永久齒と萌え代るものであります。齲齒に罹りますと齒髓炎や齒根膜炎を起して度々夜中に痛み出したり、腫れ上りなどして其の爲幼児の安眠が妨げられ營養の攝取が不充分となり延いて幼児の發育を障碍するものであります。加

之此乳齒の齲齒は永久齒との交換作用を妨害して永久齒の出歯に非常な悪影響を及ぼすものであります。其結果は齒牙の排列や咬合が不正となり唇に外観美を損ずるばかりでなく、更らに進んで骨の發育を障碍して顔面美を破壊するに至ります。又乳齒のむし蝕を放置した爲めに其部から化膿菌が進入して彼の恐るべきがく骨膜炎、骨髓炎、蜂窩織炎、淋巴腺炎等を惹き起し果ては敗血症や膿毒症となつて青春の命を失ふ事すらあります。

夏そのもの
 まちの夜は更けて
 ちんもくの街路に
 軽るしエンヂンの
 ひびきよ
 蒼白き光をうけて
 部屋の片隅に
 紅色のチエリツプが
 優しいポーズで
 眠つてゐるよ
 しのぶ互ひの
 ささやきに
 すりひくフェルトの
 佗びしい音が
 通り去つたよ



夜ふけて
 平南 信九

【朝】味噌汁 豆腐 小付
 竹の子から煮
 【晝】佃煮 牛肉
 【晩】おさしみ ひらめのもり
 まき ほうれん草

斯様な譯で乳齒のむし蝕は幼児の發育の爲にも、又顔面美の表現の爲にも非常に有益であります。是非早期の處置を受けらるゝ様にお勧め致す次第であります。特に此の乳齒の治療を怠つた結果が愛兒の命にも價する事實を考へられまして乳齒時代の口腔及齒が衛生に深甚の注意を拂はれん事を切望して止まない次第であります。

看護婦急派

の求めに應

じます

平町南町

平看護婦會

電話三七〇

父永山小平儀病氣療養中の處藥石効なく五月十五日午前八時死去仕候間御通知に代へ謹告仕候
 追て葬儀は十八日午後一時自宅出棺大館大林寺に於て佛式により執行可仕候
 五月十五日

喪主 永山一技
 親戚總代 永山平太郎
 友人總代 鷲寅次

株 債 券
 株式賣買ノ忠實ナル御相談相手トシテ御利用下サイ
 尙御希望ノ方ニハ當店獨特ノ「野線上ヨリ見タル新東觀測」ヲ御送シマス是非一度御覽ヲ願ヒマス
 株式債券現物賣買
丸井株式店
 平町南町 七十三
 電話 四六番

◇水戸市井傳醬油店特醸醬油一手卸販賣イタシマス
 御取引御希望ノ方ハ御報次第店員參上致サセマス
 外務員募集

電話新設
 電話五六一番
 石城郡平町仲町六番地
太陽生命保險株式會社
 磐城支部長 長瀬卯太
 本社 東京市日本橋區江戸橋二丁目八
 支社 仙臺市南町六十

自轉車は左記
 有名車を御撰擇下さい
 世界的ニ進出セル
 宮田ノ自轉車
 夙ニ堅牢輕快ノ定評アル
 ゼブラノ自轉車
 實用經濟車トシテ好評アル
 マイツ自轉車
 ◎マーツ號の好評をねたみ羊頭狗肉の策を用ひ偽物を販賣なし商標を侵害なしつゝある者あり法的解決により御得意様ノ御了解を得ん

宮田代理店 エビスヤ商店
 マイツ代理店
 電話 六六四

SMカメラ
 招は緑新
 花も散つて、自然は緑の世界と變りました。野に山にハイキングの好シムラソンです。MSカメラこそ貴方の樂しき一日を永遠に残すこととせう。

少スベア 年トニ 用トニ 十二圓 二圓 十圓 五圓 二圓
 新型カメラ 各種材料とラメカ
 部ラメカやみづい 前驛平

磐城共濟病院 (福島縣平町) (電話六四二番)
 小兒科 醫學博士 長石謙二郎 (電話六四二番)
 婦產科 醫學博士 五十嵐雄二 (電話三七〇番)
 外科 醫學士 大町久藏
 耳鼻咽喉科 醫學士 澤山謙郎
 皮膚泌尿器病科 醫學士 前澤正
 花柳病科 醫學士 山謙郎
 X光線科 醫學博士 石山謙郎
 衛生試驗所 獸醫 石山謙郎
 藥劑局長 高木孝平
 藥局長 鈴木本平
 事務局長 鈴木本平
 ◎毎日午前八時ヨリ午後十時迄診療
 ◎夜間診療開始(毎夜午後十時マデ)
 ◎病室完備 入院隨意

勳章を授けられ

有頂天の勇士が

祝盃の揚句暴行

内郷村字白水居 住坑夫茨城縣多賀郡華川村生れ折笠西松(三三)は日支事變に出征して勳八等を授けられた名譽の退役一等兵であるが本月十二日同村役場で授勳傳達式に參列しての歸途料理店柿沼方で祝盃を擧げ二升近く酒を一人で平けて泥酔した

無銭飲食や詐欺も發覺

酒を一人で平けて泥酔した足で内町のカフェー松竹事畑谷政藏方に至り飲み直し中サービスが悪ると暴れ出し雨戸、ガラス器具等を壊して飛出し更らに料理店

若冠十八歳の

佐藤少年が

拳闘登龍門合格

未來の堀口ピストンと 渡邊師範から折紙付く

過般郡山公會堂で催された郡山拳闘俱樂部對平拳闘俱樂部の對抗試合に若冠十八歳の佐藤少年が郡拳の猛者連を壓倒し絶讃をうけた事は既記の如くであるが其の

北氷の神秘

今週 世界 苦心の映畫 館に

て上映中のメトロ社超特作の「エスキモー」は同社撮影班が北氷洋一年半巡航の苦心の作でエスキモー人百餘名の出演と北極の神秘に盛り込まれた映畫で最近多い猛獸映畫とは全然變つた興味によりファンの人氣の焦点となりつつある

強雨に襲れ

崖崩れ卅餘坪

江名町の縣道交通杜絶された

江名町字折戸地内縣道附近の崖が昨十六日夜雷交りの強雨にゆるんで三十餘坪に亘り崩壊し縣道の交通を杜絶したので平土木監督所では今十七日朝江名築港工事場より人夫五十名を集め復舊作業を行つて居り今夕頃迄に復舊の様相である

移轉の際

同僚から盗む

内郷村大字宮字宮澤居住山形縣東置賜郡吉島村生坑夫平勇(三三)は本月十日同村白水青木飯場より移轉する際同僚横山清美所有の衣類三十一圓餘の品を窃取した事發覺昨十六日平署に檢舉

明日のラヂオ

十八日

今晚は南東の風 驟雨あり明日は 天氣好し

今晚の部

- 後六、〇〇 子供の時間 「うたのおけいこ」四家文子
- 後七、三〇 講演「文學と政治」文學博士 幸田露伴
- 後八、〇〇 歌劇—青山會館より中繼—合唱東京合

明日の部

- 前六、三〇 基礎獨語講座
- 後九、一〇 掛合噺「うつり氣」笑福亭松鶴
- 後九、五五 日本棋院春季東西大手合戦續
- 後九、三〇 時報 ニュース 氣象通報 番組豫告

一切の錯誤を生ぜざる様注意する事、等々も、ししい戒律であるが大總統?には篠山第一校長を推し進行係は千葉第二主計は赤津第三といふ配役を更に御念の入つた事には一人當り金五十錢

鼻に食ひ付き

耳を噛み切る

手傳人に一杯献上 その席上で大喧嘩

飯野村大字上荒川字川前農山崎貞次(三三)は去る十四日夕方自宅の用水堀工事に手傳つた鈴木一郎(三三)佐々木某を招き祝宴を開いたが些

細の事から手傳人二名と喧嘩になり山崎は鈴木某の鼻に噛み付き更に佐々木の耳を噛み切り目下平署で傷害罪として取調中

佳節の祝宴に

熱湯たぎる鐵瓶飛ぶ

内郷村宮居住東白河郡笹原村生れ坑夫鈴木重利(三三)は去月廿九日同村鈴木市多方で天長節祝宴の席上隣席の同僚近藤友太郎(三三)と口論の揚句矢庭に熱湯の入つた

鐵瓶を投げ付け近藤に三週間の火傷を負はした事發覺し平署で取調中

轉任教員慰勞

平町 轉任及び退職小學校教員

本人の遺傳醫學博士、駒井卓 後四、〇〇 夏場所大相撲實況(九日) 後六、〇〇 子供の時間 「お話と管絃樂」一國際善意日とは?ガレット恒子 二、管絃樂日の九管絃樂團 後六、二五 講演「ラヂオの將來」梶井剛 増補 後七、三〇 舞臺劇 増補 桃山譚市川中車外 後八、一五 歌澤 相生歌 澤寅右衛門 後八、三〇 落語「水中の黄金」三遊亭圓馬

平裁判たより

△石城郡四倉町字戸の内入漁夫小林清(三三)は去る十日午後七時頃四倉港内繫留の鈴木次外四名所有船五隻の機關室へ忍入り鉋金製コンパスパイプクランクメタル、機關用附屬品十數点等八九十圓相當のものを窃取した事件は今日七日平區にて公判開廷白水檢察より懲役一年六ヶ月の求刑あり中島裁判長より求刑通りの言渡しがあつた

△住居不定賣藥行商前科一犯圓井良男(三三)が昨年十一月廿一日頃米澤市驛前通水原旅館に同宿中の小沼治郎處有の賣藥、洋服、雜品等八十三圓五十錢を窃取した事件は本日平區に於て清田檢察より懲役二年を求刑中島監督判事より原審通り判決言渡があつた



明治太平記

(上段及上段)

(作) 寺島經史

第百二十五回

延寮館夜景 (六)

磯野ははてもなく歩き出したが、ふとまた思ひついで供待の馬車の方へひつかへした。

外國使臣のお馬車の馭者臺に寒さうに腰かけてゐる一人の馭者に呼びかけた。

「君」
馭者は眠さうな顔をあげた。

「今しがた、振袖姿の令嬢が出て行かれなかつたか」

「はア、お歸んになりました」

「むろん、お馬車だらうな」

「いゝえ、歩いてお歸んなさいました」

「歩いて？」

磯野は痛々しげに眉をひそめた。

「たつた今、門を出て行かれましたよ、きつと往來へ出てから人車屋でも呼ぶつもりなんでせう」

「ほう振袖姿のまゝか」

「さうです、振袖を可愛げに抱いて、きれいなえり足を見せて、たつた今です男の足なら直ぐ追付ますぜ」

馭者はちよいと意味不明な眼つきをした

「ひとりですか、それとも……」
「おひとりですよ、何の、お連れなどあるもんですか」
「さうか……よし」
磯野は一樓の望みを託し



ていそいで門外へ出た。芝濱の磯のほひがいかさか鼻についた。それが夜更けの寒さを一層つものらせてゐる。
小石道へ出たが、どの方角へ女が歩いて行つたか見當がつかなかつた。
さ——人車屋か、なう明るい方だな。

「明るい方と云へば築地だ。新島原の廓の明りがぼう空を染めてゐる磯野の足は自然その方角へ向けられた。」
と、その時行く手にあたり微かにカラコロと下駄の音らしいものがしてゐる。磯野の耳はそれを決して聞きのがさなかつた。
——はてな、
大またに足音の方へ近づくも果して夜目にもそれと判断の出来る文金高島田、振袖姿の麗人だ。人通りのと絶えた夜更けの小石道を

令嬢に對する禮儀だ、文明國人の風をいさゝか實地にやつてのけた。
麗人は闇にもほのかに白い襟足を見せたまゝ立どまつた。
「失禮ですが、どちらまで……」
すると、彼女は心持首をかしげてふりかへつた。
「あのう、どなた様でいらつしやいますか」
あまりに明瞭なむしろ小氣味の悪いほどはつきりした女の態度だ。
「僕も只今延寮館で踊つて居りました者ですが、お差支なかつたらなお供をさして戴きます」
「まア……御親切に……」
女は闇の中では、笑むたしかし否應の返事かないのでこちらも一寸てれた。
「あのう……新島原まで」
「え」
磯野はわが耳を疑つた。

三五年型流線美の極致
陸の王者
流線ダツチ
花と競ふその艶姿……乗心地……

到 着

電話三二番
東京鐵道局公認
不二タクシー

力ヒ焼
干やなぎ
新發賣
産雲丹みそ

魚問屋
最優最良
本店代理
生本日本
命盛賀
理代盛目
店盛目
榮(三一電)丁四平

藤沼醫院
平町・紺屋町
電話五〇番

外科 内臓外科
レントゲン線
病室完備
醫學博士 諸橋鐵彌
◎新川町二七 (電四六四)

内科
川井内科診療所
平南町(電話二四三)
川井安子

高久病院
院長 醫學士 高久忠
副院長 新潟醫學士 赤羽清
藥局長 藥劑師 佐竹菊雄
内科小兒科 外科花柳病科
耳鼻咽喉科 レントゲン科
平町田町 電話五二三番

峰岸淋丹東北專賣所
平町仲田町
東北商行
電話六五三

株式賣買債權取立
會社 三共商事
大町 電話三六〇番